

日本商工会議所機関誌「石垣」に掲載されました！



IT化による中小企業のイノベーション

「いかにして経営幹部を育成するか？」それは、多くの後継経営者に共通する課題であり、池田社長も将来を担う幹部の育成に大いに悩んでいた。

そんな時、経済産業省が推進する「IT経営応援事業（経営者研修会）」に参加。内容は、合社を取りまく経営環境の現状分析から経営課題の抽出と経営戦略・IT戦略の立案、さらにその実行計画書の策定、同時にこれらを行う人材

IT経営を実践するために人材を育てる

徹底したIT活用と人材育成で企業文化を創生する



池田工業株式会社
代表取締役社長
池田 裕幸 さん

創 業：昭和28年8月
本 社：愛知県刈谷市富町2-3-7
資本金：1200万円
従業員数：80人
事業内容：製造業・自動車部品などの切削加工
U R L：http://www.ikeda-ind.co.jp

育成計画に至るまで、「IT経営の実践」を疑似体験するものであった。

池田社長は大いに感銘を受け、自社の経営そのものを考え直すとともに、そのとき講師を務めたITコーディネータの支援で自社にあった研修プログラムで社員研修会を実行。IT経営の実践に向け、まずは人材育成に力を入れた。それを皮切りに管理若幹部を対象に継続して実施。企業文化を創造する「創成業」の設立へと結実し、社長と幹部が講師となり計画的に社員を育成している。

IT経営の成果



新基幹業務システムの構築

一方、IT活用については「何のためのIT導入か？」を突き詰め、IT戦略目標を次の4点に絞り込んで新基幹業務システムの構築を行った。

- ①業務に合った最適なシステムを選定し、システム導入コストを低減
- ②生産管理業務の効率化で手配に起因するトラブルの解消と管理人員の削減
- ③材料・工程内・製品在庫の見え方により在庫を削減

④機械・作業別工数と製品別実績原価の把握により原価を低減

新システムの本稼働では、旧システムとの仕組みの違いが原因で、製造現場で実績入力を行う際に戸惑うなど多くの問題が発生した。しかし、研修を通じて育成された社員が、自発的に問題点と改善点を見つけて地道に解決。PDCAサイクルの確立に向けた活動が徐々に定着し、IT戦略目標を達成することによって業績の向上という大きな成果に結びついた。

手間を掛け続けないと育たない

「中小企業におけるマネジメントは砂上の楼閣をつくり続けることにはかならない。それを『空しい』『情けない』とはゆめ思わず、人は手・間を掛け続けないと、人間として育たない。社長業とはそんな社員の成長に直接かかわることのできるすばらしい仕事です」(池田社長)

この言葉の通り、手間を掛け続ける人材育成と徹底したIT活用により、池田工業のIT経営は着実に進化している。

ITコーディネータ・水口和憲

お問合せは・・・



池田工業株式会社

〒448-0847 愛知県刈谷市宝町2-3-7
TEL 0566-21-0140 FAX 0566-26-5140
URL http://www.ikeda-ind.co.jp Email info@ikeda-ind.co.jp